

Title	5'-Formylgriseofulvinの微生物還元
Sub Title	
Author	小田, 泰子(Oda, Taiko) 広田, 薫子(Hirota, Kaoruko) 末吉, 裕美子(Sueyoshi, Yumiko) 佐藤, 良博(Sato, Yoshihiro)
Publisher	共立薬科大学
Publication year	1987
Jtitle	共立薬科大学研究年報 (The annual report of the Kyoritsu College of Pharmacy). No.32 (1987. ) ,p.124- 124
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	学会講演要旨
Genre	Technical Report
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062898-00000032-0135">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062898-00000032-0135</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

ロソームの系でも一部のステロイドで ESR 吸収の増大が認められた。

〔結論〕 内因性発癌因子として重要な役割を果たすステロイドホルモンの作用機作の一部に、フリーラジカル及び活性酸素の関与が示唆される。

\* 国立がんセンター研究所生物々理部

### 5'-Formylgriseofulvin の微生物還元

小田泰子, 広田薫子, 末吉裕美子, 佐藤良博

〔日本薬学会 第 107 年会 (1987年 4 月, 京都) で発表〕

〔目的〕 放線菌 *Streptomyces cinereocrocutus* による (-)-dehydrogriseofulvin とその鏡像体, およびこれらの同族体を基質とした微生物変換反応と, これら還元反応の立体化学については, すでに報告した。本研究は, 5'-formylgriseofulvin (1) を基質とした微生物変換反応を試み, 放線菌 *S. cinereocrocutus* の有する還元活性を明らかとすることを目的とした。

〔結果と考察〕 *S. cinereocrocutus* を常法通り培養ののち, 菌体を X-press 処理後, 0.03 M リン酸緩衝液を加え遠心分離し, 得られた上清を cell-free 系とし, 基質に 5'-formylgriseofulvin (1) を用い 28°C で 2 hr incubation を行なった。生成物は, シリカゲルカラムクロマト分離, アセトン再結晶後 mp 211-212°C の白色針状結晶として得た。これは, MS で m/z 382 に分子イオンピークを認めたことなどより, 5', 7' 位の還元生成物と推定した。従って, 1 を MeOH 中 NaBH<sub>4</sub> で還元し, 2 種の生成物 (2 および 3) を得た。これらを, 先に得た微生物変換生成物の融点, UV, <sup>1</sup>H-NMR, MS, CD スペクトルなどと比較し, 微生物還元生成物は, 5' α-hydroxy-methylgriseofulvin (2) と同定した。

